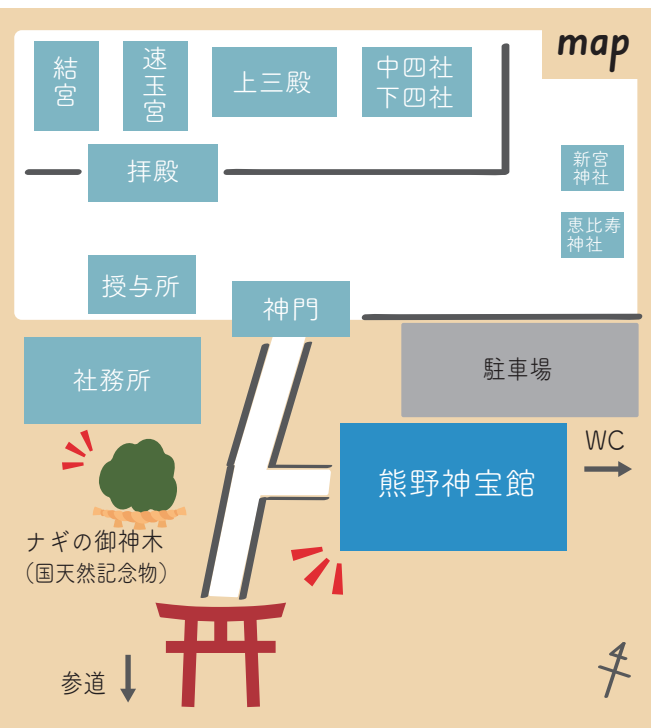
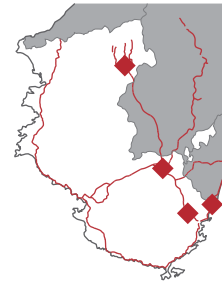


紀伊山地の霊場と参詣道 文化財巡礼のしおり



「紀伊山地の霊場と参詣道」は、和歌山、奈良、三重にまたがっています。「熊野三山」「高野山」「吉野・大峯」という日本有数の聖地と、それらを結ぶ参詣道の文化的景観の価値が認められ、2004年に世界遺産に登録されました。今年で登録 20 周年を迎えます。



熊野本宮大社

堂々たる社殿（重文）だけでなく、宝物殿には日本で二番目に古い鎌倉時代の「鉄湯釜」(重文)など、奉納品の数々が。



熊野那智大社

言わずと知れた那智滝、社殿（重文）に宝物殿と見所沢山。参詣曼荼羅や古代～中世の埋納品など、熊野の信仰を堪能。



那智山青岸渡寺

西国三十三所の第一番札所。見所は豊臣秀吉が命じて作らせた本堂。直径 140cm の大鰐口や鎌倉時代の仁王像なども。



高野山

「山の正倉院」と呼ばれる国内屈指の文化財の宝庫。高野山霊宝館には約 3 万点の国宝・重要文化財を収蔵。



和歌山県立博物館

1 年を通じて「聖地巡礼—熊野と高野—」と題し、特別展を開催中。6/15 から 3/9 まで、時期を分けて熊野三山と高野山のそれぞれにスポットを当てます。



本リーフレットは、世界遺産を構成する寺社のうち、美術工芸品の展示公開施設を有する寺社を対象に作成しています。

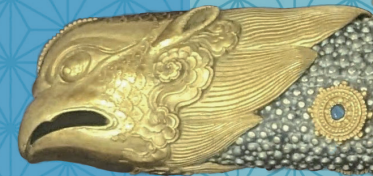
発行日 / 2024 (令和 6) 年 7 月  
編集・発行 / 和歌山県教育委員会



紀伊山地の霊場と参詣道

熊野速玉大社

文化財巡礼のしおり



古神宝類のうち 金銀装鳥頭太刀

info 熊野速玉大社 熊野神宝館

和歌山県新宮市新宮 1

Open 9:00-16:00

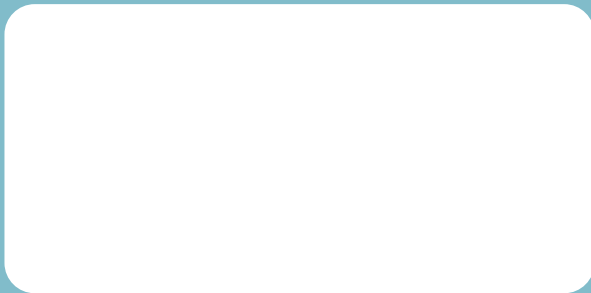
入館料 大人 500 円

高校生以下 無料

休館日 不定休



stamp



# 熊野速玉大社

あれも、これも、国宝。その数、千点以上！



平安時代前期のご神像群や、足利義満らによって明徳元年（1390）に神様へ捧げられた膨大な宝物（「古神宝類」）など、なんと千点以上もの国宝を所蔵する熊野速玉大社。ご神像は非公開ですが、珠玉の品々を熊野神宝館で見ることができます。



羽の1枚1枚を彫って表す超絶技巧！

こしんぼうるい きんぎんそうとりくびたち  
古神宝類 金銀装鳥頸太刀

国宝

「鳥頸」の名の通り、柄（え）の先端に鳥の頭をかたどった太刀。実用品ではなく、儀式や奉納用の宝剣です。羽の一枚一枚まで丁寧に表すなど、神様への奉納品としてふさわしい、技巧を凝らした名宝です。



こしんぼうるい ぎよくはい  
古神宝類 玉佩

国宝

玉佩は、男性貴族の正装で腰から垂らす装飾品。目録から主神である速玉大神にさげられたものであることが分かっています。唐草紋様が花開くように表された2つの盤や、それらを繋ぐガラス玉と花形飾りの数々。まるで宝石箱のようで、見ているだけでときめきます。先端についた水晶は歩いた時に音を鳴らすためのものだそう。どんな音がするのでしょうか。



こしんぼうるい なぎまきえ てばこ  
古神宝類 椰蒔絵手箱

国宝

古神宝類は、熊野の12の神々と速玉大社の摂社であった阿須賀神社のために、衣装や扇、そして手箱などがそれぞれ13ずつ作られました。この手箱はそのひとつ。速玉大社のご神木でもあるナギが描かれています。その中身は貴族の化粧道具で、現代風に言えば、手鏡にコーム、アイブローブラシ、ファンデなどなど。まさに神様のためのメイクボックスです。



きゅうしつこんどうそう しんよ  
髹漆金銅装神輿

重要文化財

古神宝類と同じく明徳元年に奉納された神輿。全国でも重要文化財になっている神輿はほんの一握りしかありません。昭和の頃までは、隣りに展示される船（こちらも重文！）と共に実際にお祭り（速玉祭）で使われていたというのだから驚きです。各面には凛々しい獅子が、屋根の四隅には燕が、そして頂点には鳳凰が表されています。探してみてください。

ひおうぎ  
熊野速玉大社の檜扇

国宝

県指定文化財

平安時代の高貴な女性たちが持った檜扇。速玉大社古神宝類には、南北朝時代の本物の檜扇が伝わっています。室町時代以前の作で現存するものはごくわずか。登録20周年を記念して、7/6～8/18に「熊野神宝館」にて国宝檜扇の特別展示が行われます。ぜひ実物をその目でご覧ください。

ちなみに、重そうに見えますが、実はスマホよりも軽いのです！





紀伊山地の霊場と参詣道

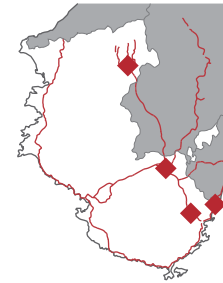
# 熊野本宮大社

文化財巡礼のしおり



## 紀伊山地の霊場と参詣道 文化財巡礼のしおり

「紀伊山地の霊場と参詣道」は、和歌山、奈良、三重にまたがっています。「熊野三山」「高野山」「吉野・大峯」という日本有数の聖地と、それらをつなぐ参詣道の文化的景観の価値が認められ、2004年に世界遺産に登録されました。今年で登録 20 周年を迎えます。



### 熊野那智大社

言わずと知れた那智滝、社殿（重文）に宝物殿と見所沢山。参詣曼荼羅や古代～中世の埋納品など、熊野の信仰を堪能。



### 熊野速玉大社

足利義満らによって奉納された、国宝の手箱などの至宝を展示。祭礼で使われていた重文の神輿や船も見ごたえたっぷり。



### 那智山青岸渡寺

西国三十三所の第一番札所。見所は豊臣秀吉が命じて作らせた本堂。直径 140cm の大鰐口や鎌倉時代の仁王像なども。



### 高野山

「山の正倉院」と呼ばれる国内屈指の文化財の宝庫。高野山霊宝館には約 3 万点の国宝・重要文化財を収蔵。



### 和歌山県立博物館

1 年を通じて「聖地巡礼—熊野と高野—」と題し、特別展を開催中。6/15 から 3/9 まで、時期を分けて熊野三山と高野山のそれぞれにスポットを当てます。



本リーフレットは、世界遺産を構成する寺社のうち、美術工芸品の展示公開施設を有する寺社を対象に作成しています。

発行日 / 2024 (令和 6) 年 7 月  
編集・発行 / 和歌山県教育委員会



## map

満山社

第一殿 第二殿 第三殿 第四殿

拝殿 神門

授与所

WC

社務所

宝物殿

駐車場



## info 熊野本宮大社 宝物殿

和歌山県田辺市本宮町本宮 1110

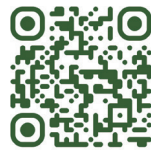
Open 9:00-12:00, 13:30-16:00

入館料 大人 300 円

子供 100 円

開館日 土曜・日曜・祝日

※平日は閉館のため、拝観は要問合せ



## stamp





# 熊野本宮大社

数々の宝物から、かつての本宮を想う

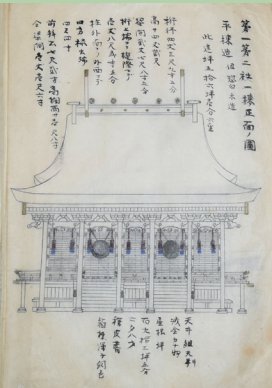


熊野本宮大社は、熊野造（くまのづくり）の堂々たる社殿（重要文化財）が見所。そのほかに、宝物殿では時の権力者に奉納され大事に守り伝えられてきた様々な宝物が展示されています。火災や水害に遭う前の、本宮大社の姿を知ることができます。

きいのくにひがしむ ろぐん  
紀伊国東牟婁郡

ほんぐう くまのにますじんじやおよびせつまつしやめいさい ずしよ  
本宮熊野坐神社及撰末社明細図書

明治14年（1881）に本宮大社が内務省に提出した書類の写し。明治22年（1889）の水害で流されてしまう前の、本宮大社の姿をかなり正確に知ることができます。その内容は、大社としての由緒から、社殿の図面や灯籠の数、敷地内にある木の数まで。杉を748本も所有していたそう。



頑張れば「建久」の字が見える！

てつゆがま  
鉄湯釜

重要文化財

大きいなあ、くらいでスルーしてしまいそうですが…実はこの鉄湯釜、とても重要なものなのです。まず、銘文から、鎌倉時代の建久9年（1198）に作られたことが分かります。これは東大寺の釜（建久8年）に次いで日本で2番目に古いもの。そして何より、かつての熊野修験の在り方の証人でもあるのです。中世、熊野では釜で沸かしたお湯を振りかけることで参拝者や行者を清める「湯立て」が行われました。しかしいつしか行われなくなり、現在では愛知県の山奥などにその名残が伝わるのみ。この湯釜こそが、熊野で湯立てが行われていたことを今に伝えているのです。



しんがく  
神額 県指定文化財

豊臣秀吉の息子、秀頼が慶長18年（1613）に奉納した神額。かつては社殿前の中門に掛かっていたと言います。左右の龍がかっこいい！痕跡から、元は全体が黒漆塗りで、龍や文字は金色だったことが分かります。

ぎほし  
擬宝珠 県指定文化財



大齋原に渡る「本宮橋」の手すりの両端についていた飾り。紀州徳川家の初代藩主・頼宣が元和6年（1620）に寄進したもの。高さはなんと約100cm！擬宝珠がついていた石柱は、大齋原のかつて社殿が建っていたところに移設されています。こちら高さ約160cm！

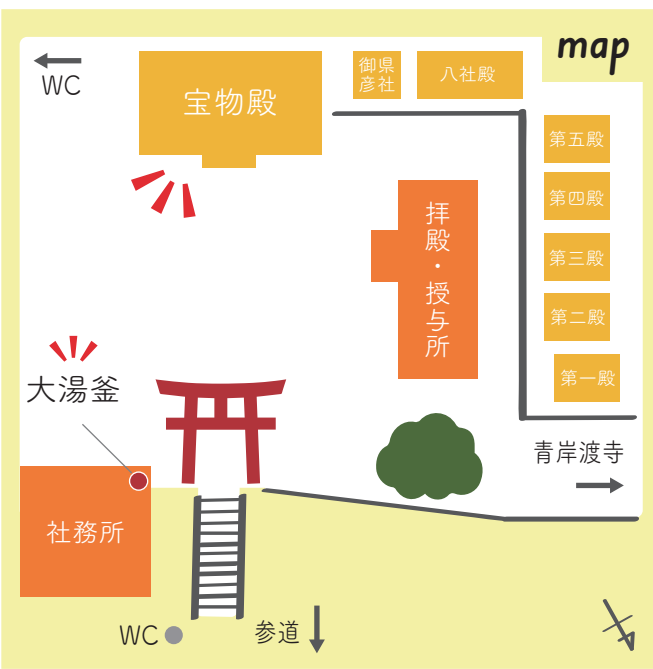
おおゆのほら  
熊野本宮大社と大齋原



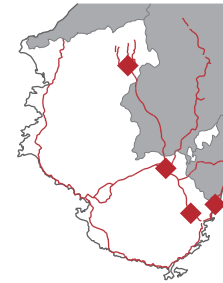
熊野川の雄大な中洲に大鳥居が立つ「大齋原」。明治22年の大水害までは、ここに本宮大社がありました。水害により社殿のうち2棟が流失するという甚大な被害を受けたため、やむなく社地を今の場所に移したのです。江戸時代の絵図を見ると、中洲の真ん中に社殿が立ち並ぶ様子がよく分かります。さぞや壮観な眺めだったことでしょう。現在の社殿とあわせ、ぜひ大齋原でかつての本宮の景観を想像してみてください。



紀伊山地の霊場と参詣道 文化財巡礼のしおり



「紀伊山地の霊場と参詣道」は、和歌山、奈良、三重にまたがっています。「熊野三山」「高野山」「吉野・大峯」という日本有数の聖地と、それらを結ぶ参詣道の文化的景観の価値が認められ、2004年に世界遺産に登録されました。今年で登録 20 周年を迎えます。



熊野本宮大社

堂々たる社殿（重文）だけでなく、宝物殿には日本で二番目に古い鎌倉時代の「鉄湯釜」(重文)など、奉納品の数々が。



熊野速玉大社

足利義満らによって奉納された、国宝の手箱などの至宝を展示。祭礼で使われていた重文の神輿や船も見ごたえたっぷり。



那智山青岸渡寺

西国三十三所の第一番札所。見所は豊臣秀吉が命じて作らせた本堂。直径 140cm の大鰐口や鎌倉時代の仁王像なども。



高野山

「山の正倉院」と呼ばれる国内屈指の文化財の宝庫。高野山霊宝館には約 3 万点の国宝・重要文化財を収蔵。



和歌山県立博物館

1 年を通じて「聖地巡礼—熊野と高野—」と題し、特別展を開催中。6/15 から 3/9 まで、時期を分けて熊野三山と高野山のそれぞれにスポットを当てます。



本リーフレットは、世界遺産を構成する寺社のうち、美術工芸品の展示公開施設を有する寺社を対象に作成しています。

発行日 / 2024 (令和 6) 年 7 月  
編集・発行 / 和歌山県教育委員会



紀伊山地の霊場と参詣道

熊野那智大社

文化財巡礼のしおり



剣および金銀装宝剣拵

info 熊野那智大社 宝物殿

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山 1

Open 8:30-15:30

入館料 大人 300 円

小・中学生 200 円

未就学児 無料

休館日 水曜日



stamp





# 熊野那智大社

熊野信仰の奥深さを、心ゆくまで堪能



熊野那智大社は、那智の滝への自然崇拝を起源とする聖地です。滝は落差 133m、日本一の高さを誇る「日本第一霊験所」。宝物殿には、熊野信仰に関わる様々な文化財が展示されており、熊野信仰の奥深さを知ることができます。



## けん きんぎんそうほうけんごしらえ 剣および金銀装宝剣拵

重要文化財

※拵のみ

「那智御滝秘宝」、神剣「フツノミタ マノツルギ」と伝わる宝剣と、その拵（鞘などの外装）。剣は修験の儀式で使われたものと考えられており、那智滝の信仰を象徴する逸品です。拵は紀州徳川家の初代藩主、徳川頼宣が寛永 13 年（1636）に作らせたもの。仏教の法具に似せた柄（つか）や、波打つ龍が精緻に彫刻された鞘には、やはり修験道の影響がうかがえます。「那智の秘宝の神剣」、格好良さにため息がこぼれます。

※展示期間：9月～



かんのん ぼさつりゅうぞう

## 観音菩薩立像 県指定文化財

平安時代後期、那智の滝にはたくさんの方の経塚が作られ、お経や仏像などが埋められました。この観音像は中国唐代（8世紀）のもの。仏の正しい教えが失われるという「末法思想」が広がる中、外国製の貴重な像をタイムカプセルとして未来へ残すことで、救われたいと強く願ったのでしょう。

※展示期間：9月～

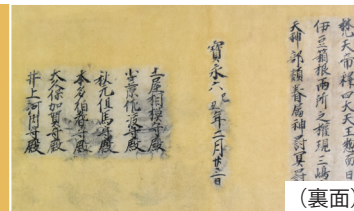
せんじゆ かんのおん かけぼとけ

## 千手観音懸仏

県指定文化財



平安時代に、神は仏が姿を変えたもの（本地仏〔ほんじぶつ〕）、という思想が生まれました。熊野では、本宮が阿弥陀、速玉が薬師、そして那智が千手観音とされています。ここに表されているのは、那智の神様でもあるのです。



な ち たいしゃもんじよ ごおうほういんせいし

## 那智大社文書 牛玉宝印誓詞 重要文化財

「牛玉宝印（ごおうほういん）」と呼ぶ不思議な護符。「那智瀧宝印」の字をカラスで表現。中世の人々は、重要な約束をする際、熊野の牛玉宝印の裏面に署名して、その約束を破らないことを神仏に誓いました。



多くの参詣者が  
大門坂を登って  
いきます



## な ち さんけい まん だ ら 那智参詣曼荼羅

県指定文化財

滝、社殿、三重塔、補陀落渡海（ふだらくとかい）の船、ヤタガラスに多くの参詣者たち。こうした那智山の景観と様々な伝説をひとつの画面に収めた絵画です。滝には、鎌倉時代の僧・文覚が、荒行により生死の境をさまよった時、お不動さんの使いに助けられた姿が描かれています。中世には、熊野比丘尼（びくに）という女性たちがこうした参詣曼荼羅を見せながら、全国の人々に熊野の信仰を説いてまわりました。

## 那智の扇祭り と 古鏡

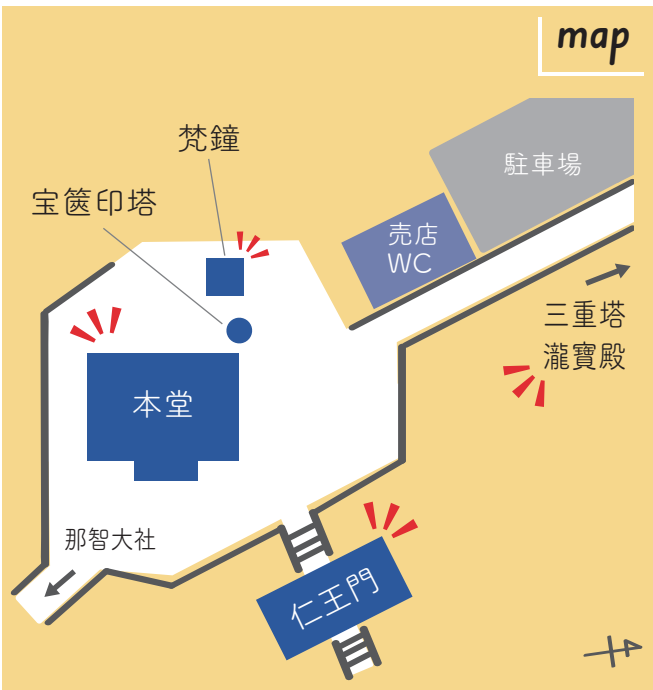


大松明で有名な那智の火祭りは、正確には扇祭りといえます。松明は場を清めるためのもので、主役は神々の依り代である扇と鏡を組み合わせた「扇神輿」なのです。宝物殿では、かつて扇神輿に使われていた（！）室町時代の鏡を見ることができます。





紀伊山地の霊場と参詣道 文化財巡礼のしおり



info なちさんせいがん とじ 那智山青岸渡寺 三重塔

和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山 8

Open 8:30-16:00

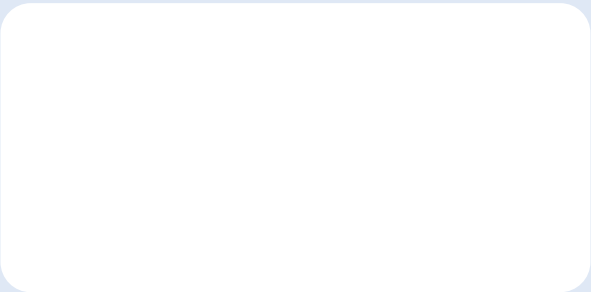
入館料 大人 300 円

子供 200 円

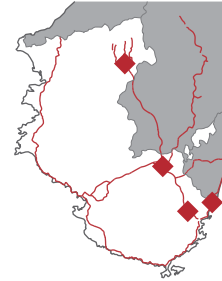
休館日 不定休 (ほぼ無休)



stamp



「紀伊山地の霊場と参詣道」は、和歌山、奈良、三重にまたがっています。「熊野三山」「高野山」「吉野・大峯」という日本有数の聖地と、それらをつなぐ参詣道の文化的景観の価値が認められ、2004年に世界遺産に登録されました。今年で登録20周年を迎えます。



熊野本宮大社

堂々たる社殿(重文)だけでなく、宝物殿には日本で二番目に古い鎌倉時代の「鉄湯釜」(重文)など、奉納品の数々が。



熊野速玉大社

足利義満らによって奉納された、国宝の手箱などの至宝を展示。祭礼で使われていた重文の神輿や船も見ごたえたっぷり。



熊野那智大社

言わずと知れた那智滝、社殿(重文)に宝物殿と見所沢山。参詣曼荼羅や古代～中世の埋納品など、熊野の信仰を堪能。



高野山

「山の正倉院」と呼ばれる国内屈指の文化財の宝庫。高野山霊宝館には約3万点の国宝・重要文化財を収蔵。



和歌山県立博物館

1年を通じて「聖地巡礼—熊野と高野—」と題し、特別展を開催中。6/15から3/9まで、時期を分けて熊野三山と高野山のそれぞれにスポットを当てます。



本リーフレットは、世界遺産を構成する寺社のうち、美術工芸品の展示公開施設を有する寺社を対象に作成しています。

発行日 / 2024 (令和6) 年 7 月  
編集・発行 / 和歌山県教育委員会



那智山青岸渡寺

文化財巡礼のしおり

紀伊山地の霊場と参詣道



仁王像のうち 吽形像



# 那智山青岸渡寺

巡礼者で賑わう、西国三十三所第一番札所



青岸渡寺の本堂（重要文化財）は、豊臣秀吉の命を受け、その弟秀長が再建したもの。日本最古の巡礼路である西国三十三所の第一番札所であり、本尊は如意輪観音（秘仏）。今もなお巡礼者が途切れることなく訪れる、観音霊場です。

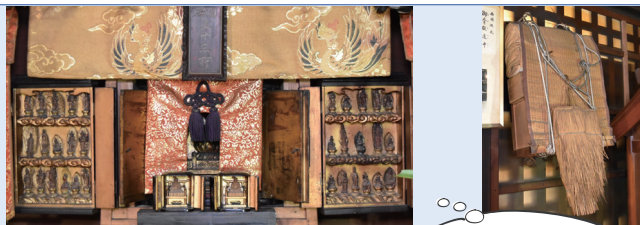


わにぐち

鰐口

県指定文化財

本堂の内部にかかっている直径 140cm にもなる超巨大鰐口。銘文には、天正 18 年（1590）に豊臣秀吉が奉納したと刻まれています。そして別の史料では、永祿 10 年（1567）の戦火により溶けてしまった東大寺の大仏の銅が使われている、という記述も。紆余曲折に歴史のロマンを感じます。



おせた  
御背板

本堂の中に展示されています

西国三十三所をなんと一年に三回ずつ、十一年間巡礼した「三十三度行者（ぎょうじゃ）」という行者が背負った道具。御背板には三十三所のミニチュアが収められています。各地でこれを開き、読経をしてまわりました。

におうぞう

仁王像

県指定文化財

高さ約 3m の勇壮な仁王像。鎌倉時代後期の作と見られています。かつては今の大門坂にあった大門に安置されていました。中世の那智山の様子を描いた絵画には、かつての大門とこの仁王像が描かれています。今の仁王門自体は、昭和 8 年（1933）に再建されたもの。それ以前は青岸渡寺の本堂に納められていたのだとか。肋骨の上の胸筋や手の甲の青筋など、その迫真の表現にシビれます！



ほんしょう

梵鐘

県指定文化財

本堂の裏にひっそりと立つ鐘楼に、ひっそりと吊り下げられた梵鐘。実は鎌倉時代の元亨 4 年（1324）の作なのです。中世の頃の那智山の様子を表した絵にも鐘楼が描かれており、この梵鐘がかけられていたと見

られます。現在も毎朝 7 時に撞かれており、700 年間、連綿と那智山に時を知らせ続けています。



なちきょうづかしゆつどひん

瀧寶殿特別公開と那智経塚出土品



重要文化財

通常非公開の瀧寶殿で特別公開が実施されます。期間は 9/14～9/23、11/1～11/30（10～15 時）。最も注目すべき是那智山経塚出土品（一部複製）。天台密教の世界観を、銅製の仏像や仏を表すアイコン（三昧耶形 [さんまやぎょう]）で立体的に表したものです。国内に他に例はありません。大正 7 年（1918）に那智の滝の近くから発見されました。別の史料から時期も埋納者も全容も分かる、唯一無二の逸品です。





紀伊山地の霊場と参詣道

# 高野山

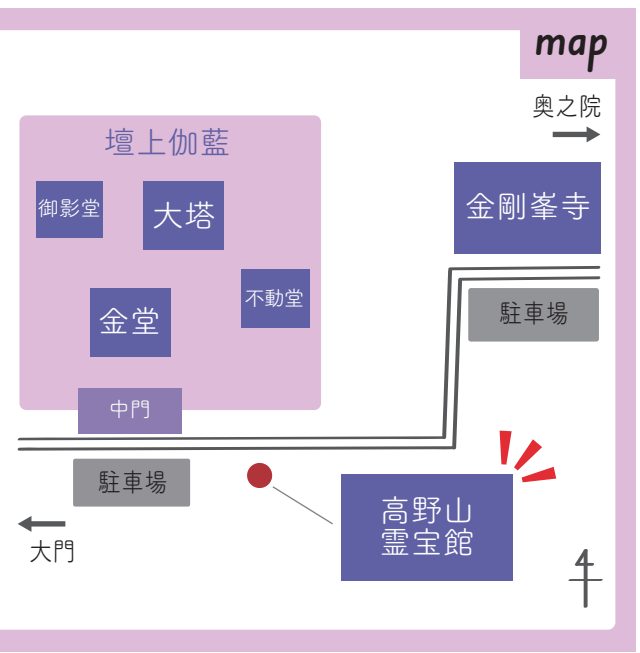
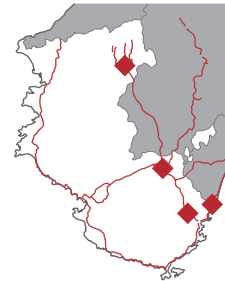
文化財巡礼のしおり



四天王立像のうち 多聞天立像

## 紀伊山地の霊場と参詣道 文化財巡礼のしおり

「紀伊山地の霊場と参詣道」は、和歌山、奈良、三重にまたがっています。「熊野三山」「高野山」「吉野・大峯」という日本有数の聖地と、それらを結ぶ参詣道の文化的景観の価値が認められ、2004年に世界遺産に登録されました。今年で登録 20 周年を迎えます。



info こうや さんれい ほうかん  
高野山霊宝館

和歌山県伊都郡高野町高野山 306

Open 8:30-17:30 (5-10月)  
8:30-17:00 (11-4月)  
※R7年度からは通年 9:00 ~ 17:00

入館料 大人 1,300 円  
高大学生 800 円  
小中学生 600 円

休館日 年末年始

stamp

**熊野本宮大社**

堂々たる社殿（重文）だけでなく、宝物殿には日本で二番目に古い鎌倉時代の「鉄湯釜」（重文）など、奉納品の数々が。

**熊野速玉大社**

足利義満らによって奉納された、国宝の手箱などの至宝を展示。祭礼で使われていた重文の神輿や船も見ごたえたっぷり。

**熊野那智大社**

言わずと知れた那智滝、社殿（重文）に宝物殿と見所沢山。参詣曼荼羅や古代～中世の埋納品など、熊野の信仰を堪能。

**那智山青岸渡寺**

西国三十三所の第一番札所。見所は豊臣秀吉が命じて作らせた本堂。直径 140cm の大鰐口や鎌倉時代の仁王像なども。

**和歌山県立博物館**

1 年を通じて「聖地巡礼—熊野と高野—」と題し、特別展を開催中。6/15 から 3/9 まで、時期を分けて熊野三山と高野山のそれぞれにスポットを当てます。

本リーフレットは、世界遺産を構成する寺社のうち、美術工芸品の展示公開施設を有する寺社を対象に作成しています。

発行日 / 2024 (令和 6) 年 7 月  
編集・発行 / 和歌山県教育委員会



# 高野山霊宝館

高野山の至宝が集結。拝観はマスト！



弘法大師空海によって開かれた真言密教の聖地・高野山。「山の正倉院」とも呼ばれ、国内屈指の文化財の宝庫として知られます。約3万点もの国宝・重要文化財を収蔵する高野山霊宝館では、様々な展覧会を企画してそれらの至宝を紹介しています。

## だいにちによらい ざぞう 大日如来坐像

重要文化財

高野山に伝わる最も古い木彫像のひとつ。それがこの大日如来坐像です。平安時代前期(9世紀頃)の作とされています。壇上伽藍の西塔に安置されていました。瞑想しているような神秘的な眼差しや、がっしりとして安定感のある体つき。開創もない頃の高野山の息吹を感じられます。



してんのう りゅうぞう

## 四天王立像

重要文化財

ふたつの  
四天王像の  
違いに注目！



(平安)

広目天

多聞天

増長天

持国天

(鎌倉)



四天王とは、東西南北を守る4人1組の守護神のこと。高野山金剛峯寺には2組の像が伝わりますが、同じ四天王でも全く作風が違います。平安時代の半ば頃に作られた方は、質実剛健なのに少しかわいい印象。鎌倉時代に仏師・快慶が作った方は、力強くリアルな印象。それぞれの時代の流行が感じられます。

じんじゃだいしょうりゅうぞう

## 深沙大将立像

重要文化財



快慶によって作られた異形の鬼神。首にはドクロの飾りをつけ、両腕には蛇が巻き付き、腹部には人面が浮き出て、膝にはゾウの皮をつけています。中国から来たエキゾチックな新しい図像(イメージ)を、見事に立体に仕上げています。



矜羯羅童子立像

制多迦童子立像

はちだいどうじりゅうぞう

## 八大童子立像

国宝

日本で一番有名な仏師、平安時代末から鎌倉時代を生きた運慶の作。八大童子はお不動さんの8人の眷属(従者)です。子供の姿なのに知性あふれる力強い眼差しは「人ならざるもの」を感じさせ、その存在感にドキリとします。日本彫刻史上に燦然と輝く、運慶の代表作のひとつです。この八大童子、普段は展示されていないのですが、7/20~10/14に特別公開されます。この機会を逃さないで！！

## 高野山奥之院と藤原道長

高野山奥之院では、弘法大師空海が今もなお禅定(瞑想)を続けているとされています。「御堂関白(みどうかんぱく)」藤原道長は、治安3年(1023)、58歳の頃に高野山に参詣しています。藤原実資の日記『小右記』によれば、道長が弘法大師の廟堂に参拝した際、廟堂の扉が自然に開き、扉の奥に秘められた墳墓を目の当たりにする、という不思議な体験をしています。仏教を篤く信仰した晩年の道長にとって、忘れられない出来事だったことでしょう。

